

<Vol. 107 の記事>

報 告 **大盛況 親子キャッチボール！！**

連 載 **フレイバック20年④ -2001年-**

レオも参加したキャッチボール教室

親子100組！！ レオもやってきた！！

12月6日、クラブ初の野球イベント！ 親子キャッチボール教室。10月末の募集からわずか1週間で定員に達したことで、みんなが楽しみにしている・・・前週の雨が長引き、心配でドキドキものでした。

野球場は水びたしで使えませんでした、砂をいれたばかりだったサッカーグラウンドは、OK！

ライオンズOBの柴田氏と、会場を提供して下さった浦和高校の野球部OBの有志、さらには、元甲子園球児の接骨院のH院長や患者だった学生、クラブの中山コーチとそのお友だちなど、スタッフも充実！ 100組200名の親子を迎え入れて、無事開催。



なんと、ライオンズのマスコットのレオまで登場！子ども達には大人気でした。

基本を大事に、そしてなによりも、今後につながるように親子のコミュニケーションを大切にされた柴田氏の教え方に、感謝・・・ あっという間の2時間でした。

これまで、クラブでは定期的なプログラムの開催を原則として目指してきましたが、このようなイベントも、皆さんにスポーツの楽しさを思い出



してもらふこと、地域のいろいろな種目の方々とネットワークをつくること、クラブを知ってもらうことなど、いろいろな意味で、意味があることだなぁと改めて感じました。



お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました！



(翌日の読売新聞にも大きく掲載 ^^)

さいたま市・園庭の芝生化推進！ ^^！

鳥取グリーンフィールドのニール氏にお話いただいた浦和スポーツ特別編『芝生からはじまるからだづくり』からもうすぐ1年・・・

来年こそは、さいたま市に芝生化を・・・とっていたら、こんな記事を市のHPで見つけました。

<保育園の園庭芝生化に取り組みました>

6月23・24日に南区白幡保育園、北区東大成保育園、見沼区七里東保育園の3園、合計約270平方メートルを園児さんと一緒に芝の苗を植えました。



(写真は東大成保育園の芝苗植付け後の園庭)

*市のHPから抜粋して転載



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。

3月議会で芝生化について質問をしてくださった市議の方からの情報では、来年度にはさらに拡大し、再来年には、市内の市立保育園の全ての園庭に広げていく計画があるとのこと。

遠くない将来、さいたまの子ども達、さらには保護者にとって、芝生のグラウンドが当たり前になっていきます。

さあ、みんなで小学校や、そして私たちが遊ぶグラウンドも、芝生にしていきたいと思います。キャッチボールやかけっこのできる広場を増やしていきたいですね。

でも、そのためにも、市には、保育園での試行状況について生育状況や管理の手間などの情報を公開して、市民と共有していくことを望みます。

芝生推進プロジェクトメンバー募集

現在、クラブで利用させてもらっているグラウンドで、芝生化を進めたいと思います。ご関心のある方、汗をかいていただける方、事務局までご連絡ください。夏には緑の芝生で遊びましょう！

連載⑥ 施設の有効利用

本号では、施設の有効活用の視点から、総合型地域スポーツクラブが有効な点について説明します。

●サッカー広場、星空、そして親子キャッチボール

2002年に始めたサッカー広場。それまでの駒場サブグラウンドの平日は、夜7時から一般の方々が使うまではガラガラな状態でした。

放課後に校庭で思うように遊べない子ども達にとって遊びたくても遊べない、入りたくても入れない場所でした。個人では借りられないし、ましてや子どもだけでは借りられないからです。

県立高校の施設開放は、人数の限られた特定のサークルに貸し出すのでは、收拾が着かず学校の負担が膨大になることが懸念されて、なかなか進みませんでした。地域スポーツクラブが受け皿となることで実現し、星空スポーツ広場が実現しました

そして、今回の親子キャッチボール。キャッチボールのできる公園や広場がほとんどない中、団体が代表することで、このようなことが可能となりました。

●参加者の理解と協力の基に実現する・・・

地域の多くの人々が参加できる場をつくるのが公共財産である施設を活用する私たちに求められています。

そのためには、限られたスペースを、できるだけ多くの人々が楽しめるように、技量や体力で調整をしたり、あえて一緒に行ったりすることも必要となります。また、会場を安全にきれいに使っていくことも必要です。

参加者が、一緒にこの場を守っていくことが、何より大切なこととなります。みんなで使わせてもらうために、みんなで汗をかいていくこと、そうすることで楽しい空間をつくりだしていける。その舞台が、地域スポーツクラブです。

プレイバック浦スポ④ 2001

プレイバック浦スポの四回目は、会員自主運営に移行したばかりの2001年度を振り返ります。

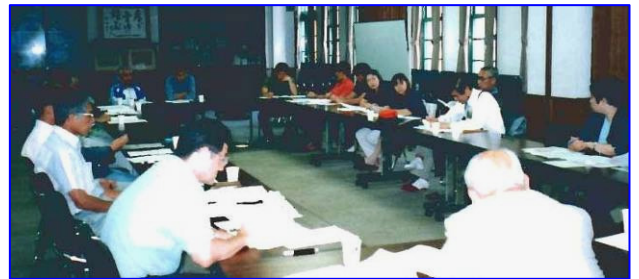
●手探りの運営

長年、職員と指導者を兼ねていたO氏の退職後、はじめて迎える年度となり、U15連盟の参加をはじめとして、手探りの運営状況が続きました。

そのような中で送り出した中3の仲間たち。夏頃までは子どもっぽかった彼らが、秋～春にかけて、身体も心も成長していったことに驚きを感じたものでした。



十分に世話をしあげられなかったことで、かえって彼らをたくましくしたのでしょか・・・。



総会には、U15の保護者の方々も参加し、生涯の会員や理事と意見交換・・・というよりも、一緒に相談しながら進めていたような気がします。保護者の方から貴重な助言をいただいたこともしばしば・・・。このニュースも、そんな助言から始まりました。

●生涯も便乗・・・

夏のU15の合宿は、群馬県の帰恋でした。

コーチだけは大変だろう(?)ということで、生涯コースが参加・・・実は、同村で行なわれるサラリーマンカップ出場を楽しみに・・・再開から間もないU18のメンバー3名も生涯コースに混じって参加しました。



宿では、一緒にきた家族や中学生、高校生もまじってB BQ! あれ?写真に写っている赤い帽子はSコーチではないだろうか・・・(^ ^)



2009年も(?)、クラブにとって大きな変化のある年でした。

2010年、クラブは20周年を迎えます。

会員の皆様の健康と、100年続くクラブを願って、活動していきたいと思ひます。